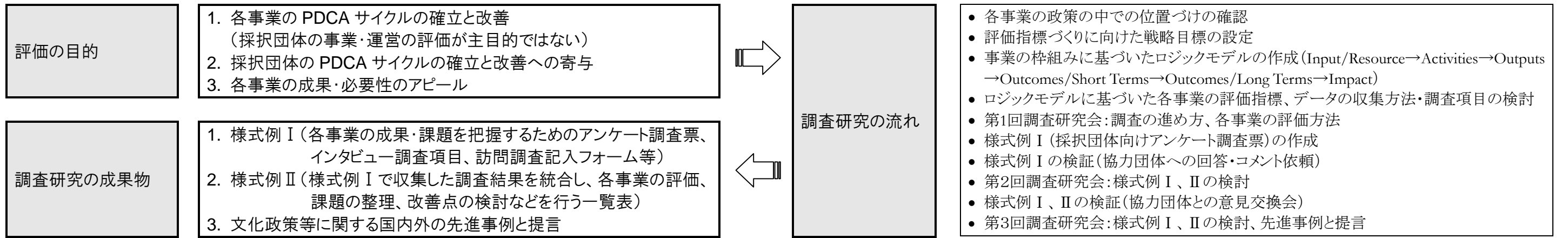


文化政策の評価手法に関する調査研究

---

概要

調査研究の概要



	評価指標づくりに向けた戦略目標	様式例 I	様式例 II
A. トップレベルの 舞台芸術創造事業	今後芸術文化振興基金と連携のうえ検討予定	今後芸術文化振興基金と連携のうえ検討予定	
B. 優れた劇場・音楽堂からの 創造発信事業	<ol style="list-style-type: none"> <li>自主企画制作による舞台芸術公演の質を向上させること</li> <li>優れた舞台芸術の鑑賞機会を地域住民に提供すること</li> <li>居住地域に関わらず文化芸術を鑑賞する機会を提供すること</li> <li>居住地域に関わらず地域住民に参加・創造する機会を提供すること</li> <li>アートマネジメント人材や舞台スタッフを育成すること</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>採択団体アンケート調査(事業報告書と連動)</li> <li>観客アンケート調査</li> <li>参加者アンケート調査 (ワークショップ・アウトリーチ参加者向け)</li> <li>採択団体インタビュー調査</li> <li>芸術家・芸術団体インタビュー調査</li> <li>訪問調査記入フォーム</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>output (結果)、outcome (効果)、impact (波及効果) の評価指標別に様式例 I の調査結果を分析・整理し、評価・改善のポイントを抽出する。</li> <li>様式例 I で把握した「制度や仕組みの見直し」に関する要望や問題点・課題もあわせて整理。</li> <li>採択団体の基礎データの集計・分析も実施。</li> </ul>
C. 文化遺産を活かした 観光振興・地域活性化事業	<ol style="list-style-type: none"> <li>人材育成や技術・技能の伝承により、地域の文化遺産を次世代に継承すること</li> <li>地域の文化遺産を適切に保存、公開し、広く国民が親しむ機会を提供すること</li> <li>地域の文化遺産を媒介に、地域の誇りや住民相互の絆を生み出すこと</li> <li>地域の文化遺産を活用することで、地域活性化に資すること</li> <li>地域の文化遺産を活用することで、観光振興に資すること</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>採択団体アンケート調査(事業報告書と連動)</li> <li>採択団体インタビュー調査</li> <li>訪問調査記入フォーム</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>output (結果)、outcome (効果)、impact (波及効果) の評価指標別に様式例 I の調査結果を分析・整理し、評価・改善のポイントを抽出する。</li> <li>様式例 I で把握した「制度や仕組みの見直し」に関する要望や問題点・課題もあわせて整理。</li> <li>採択団体の基礎データの集計・分析も実施。</li> </ul>
D. 文化芸術創造都市推進事業	<ol style="list-style-type: none"> <li>文化芸術の持つ創造性を活用した先駆的かつ多様な取組・事業を開発すること</li> <li>文化芸術の持つポテンシャル、重要性に対する理解を促進すること</li> <li>地方自治体、市民団体、民間企業の協働による創造的活動を促進すること</li> <li>国内における創造都市政策の理解の促進と普及を図ること</li> <li>文化芸術の持つ創造性を活用して地域課題を解決すること</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業には「事業の成果の評価・分析のための計画作成と実施」が含まれており、専門家からなる評価委員会での検証など、採択団体自身が事業評価を行う仕組みとなっている。また、本事業は採択団体の自由な発想に基づいた計画の策定と実施を行う「政策提案型」のものであることから、共通の評価指標や様式での評価は難しい。</li> <li>output (結果) は事業成果報告書に記載された内容から判断し、outcome (効果)、impact (波及効果) に関する評価結果については戦略目標に基づいた視点からの記述を依頼して評価を行う。</li> </ul>	
E. 文化芸術の 海外発信拠点形成事業	<ol style="list-style-type: none"> <li>日本の文化芸術に対する理解を促進し、日本に対する親近感を醸成すること</li> <li>国際的な視点から芸術家の創作活動、作品創造に対して貢献すること</li> <li>日本の文化芸術の水準の向上と海外発信、芸術家等の国際交流を促進すること</li> <li>創造的人材の交流・滞在によって地域や住民に新たな活力を創出すること</li> <li>文化芸術を通じた国際的な相互理解を促進すること</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>採択団体アンケート調査(事業報告書と連動)</li> <li>参加者アンケート調査 (芸術家・研究者・学芸員向け)</li> <li>採択団体および参加者インタビュー調査</li> <li>訪問調査記入フォーム</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>output (結果)、outcome (効果)、impact (波及効果) の評価指標別に様式例 I の調査結果を分析・整理し、評価・改善のポイントを抽出する。</li> <li>様式例 I で把握した「制度や仕組みの見直し」に関する要望や問題点・課題もあわせて整理。</li> <li>採択団体の基礎データの集計・分析も実施。</li> </ul>

事業の概要と評価指標、評価データの収集方法 | B. 優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業

事業の概要

政策の中での位置づけ	
文部科学省(文化庁)の政策体系の中での位置づけ	
①芸術文化の振興 優れた芸術文化への支援、新進芸術家の人材育成、子どもの芸術文化体験活動、地域における芸術文化活動の推進等を通じて、我が国の芸術文化活動水準の向上を図るとともに、国民全体が、芸術文化活動に参加できる環境を整備する。 ○芸術文化の振興を図るため、優れた芸術文化への支援を継続し、芸術文化創造活動を活性化させる。 ○子どもたちが本物の舞台芸術や伝統文化に触れ豊かな感性と創造性を育むとともに、地域における文化活動の活性化を図り、地域の住民が質の高い芸術文化活動に触れられる機会を充実する。	
第3次基本方針の中での位置づけ	
重点戦略1 文化芸術活動に対する効果的な支援 ○地域の核となる文化芸術拠点において、優れた文化芸術が創造され、国内外に発信されるよう、その活動への支援を充実する。 重点戦略2 文化芸術を創造し、支える人材の充実 ○雇用の増大を図ることも念頭に置き、文化芸術活動や施設の運営を支える専門的人材の育成・活用に関する支援を充実する。	
事業目的	
既存資料の抜粋(応募要領「I. 募集について 1. 事業の概要」より)	
○我が国の舞台芸術水準の向上を図ること ○広く国民が享受できる環境を醸成すること	
評価指標づくりに向けた戦略目標	
1 自主企画制作による舞台芸術公演の質を向上させること 2 優れた舞台芸術の鑑賞機会を地域住民に提供すること 3 居住地域に関わらず文化芸術を鑑賞する機会を提供すること 4 居住地域に関わらず地域住民に参加・創造する機会を提供すること 5 アートマネジメント人材や舞台スタッフを育成すること	

事業内容 (平成23年度)

事業の枠組み	
①重点支援劇場・音楽堂(舞台芸術の水準を向上) 自主企画制作公演、教育普及事業、人材育成事業、スタッフ人材育成交流事業 ②地域の中核劇場・音楽堂(地域のリーダー的役割) 地域と取り組む公演、教育普及事業、人材育成事業、スタッフ人材育成交流事業 ③共同制作公演(新たな創造活動) 新たな創造活動の公演	
主な採択団体・補助事業名	
①重点支援劇場・音楽堂 採択件数:12件 ◆世田谷文化生活情報センター(世田谷パブリックシアター)◎ ◆彩の国さいたま芸術劇場 ◆兵庫県立芸術文化センター◎ ②地域の中核劇場・音楽堂 採択件数:67件 ◆いづみホール◎ ◆杉並区立杉並芸術会館「座・高円寺」 ◆可見市文化創造センター◎ ③共同制作公演 採択件数:2件 ◆滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール	

評価指標、評価データの収集方法と調査項目

	output(結果)	outcome(効果)	impact(波及効果)
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種事業における鑑賞機会や参加機会の供給量(公演回数、総客席数等)、需要量(入場者数、入場率、参加者数等)</li> <li>観客や参加者等の来館経験、頻度</li> <li>パブリシティの取り組み、実績</li> <li>事業収支、設置者の財源負担</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観客や参加者等の満足度、舞台芸術作品に対する芸術面の評価</li> <li>劇場・音楽堂の事業運営全体に及ぼす効果、影響</li> <li>芸術団体や教育機関等とのネットワーク、地方公共団体の理解、協力、協働</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域における劇場・音楽堂が果たす社会的役割、文化芸術環境の満足度</li> <li>文化芸術の鑑賞・参加・創造による生活の質の向上</li> <li>周辺地域における経済や雇用に対する影響、地域イメージの変化、地域ブランドの向上</li> </ul>

様式例 I アンケート調査票の設問項目

①採択団体 アンケート調査 (事業報告書と連動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主企画制作公演の企画本数、自主企画制作公演の公演回数、総客席数、入場者数、入場率</li> <li>教育普及事業、人材育成事業、人材育成交流事業の企画本数、実施回数、参加者数</li> <li>宣伝、告知、批評、論評等の掲載量</li> <li>事業収支、設置者の財源負担</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金によって充実できた事項(事業の質の向上、鑑賞機会の増加、地域住民への普及、人材育成等)</li> <li>事業の水準(卓越性)を示す特記事項</li> <li>自主企画制作公演以外の公演回数、総客席数、入場者数、入場率</li> <li>施設の年間利用率、諸室別・利用内容別の利用率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>劇場・音楽堂が果たす地域の社会的役割(例えば教育、福祉、まちづくり等における役割)</li> <li>劇場・音楽堂による地域の文化芸術団体の発足、活動の変化</li> <li>周辺地域における経済や雇用に対する劇場・音楽堂の影響</li> </ul>
②観客 アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>舞台芸術の鑑賞頻度(舞台芸術の参加・創造活動の経験)</li> <li>当該劇場・音楽堂への来館経験、年間来館回数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来場した自主企画制作公演の満足度</li> <li>来場した自主企画制作公演に対する感想(批評性の高いものを抽出)</li> <li>劇場・音楽堂の事業方針への支持</li> <li>今後の劇場・音楽堂への来館の意向</li> <li>今後の舞台芸術の鑑賞機会の意向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>回答者自身の文化芸術の重要性</li> <li>劇場・音楽堂による回答者自身の生活の変化や満足度</li> <li>地域における劇場・音楽堂の重要性</li> <li>劇場・音楽堂による地域の芸術文化環境の変化や満足度</li> </ul>
③参加者 アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>舞台芸術の鑑賞頻度(舞台芸術の参加・創造活動の経験)</li> <li>当該劇場・音楽堂への来館経験、年間来館回数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加した教育普及事業や人材育成事業等の満足度</li> <li>劇場・音楽堂の事業方針への支持</li> <li>今後の劇場・音楽堂への来館の意向</li> <li>今後の舞台芸術の鑑賞機会の意向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>回答者自身の文化芸術の重要性</li> <li>劇場・音楽堂による回答者自身の生活の変化や満足度</li> <li>地域における劇場・音楽堂の重要性</li> <li>劇場・音楽堂による地域の芸術文化環境の変化や満足度</li> </ul>

様式例 I グループインタビュー、訪問調査の記入フォームの設問項目

④採択団体 ⑤芸術家・芸術団体 インタビュー調査		<ul style="list-style-type: none"> <li>自主企画制作公演に関する芸術面の水準(卓越性)の評価</li> <li>教育普及事業、人材育成事業、人材育成交流事業の評価</li> <li>劇場・音楽堂による地域の芸術団体の新たな発足、芸術家の活動の変化</li> <li>地域の芸術家、芸術団体の意識の変化、芸術家相互の交流機会</li> <li>国および周辺地域における劇場・音楽堂の位置づけ、役割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>劇場・音楽堂が果たす地域の社会的役割(とくに地域の新進芸術家や子どもに対する役割)</li> <li>周辺地域における経済や雇用に対する劇場・音楽堂の影響</li> <li>劇場・音楽堂による地域イメージの変化、地域ブランドの向上</li> </ul>
⑥訪問調査 記入フォーム		<ul style="list-style-type: none"> <li>自主企画制作公演に関する芸術面の水準(卓越性)の評価</li> <li>スタッフの専門的知識や技術の向上(制作、広報、舞台技術、資金調達等)</li> <li>観客や参加者の新規顧客の開拓、リピーターの獲得</li> <li>芸術団体、教育機関、NPO、市民団体等とのネットワークによる効果</li> <li>劇場・音楽堂に対する地方公共団体の理解や協力の姿勢、協働体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>劇場・音楽堂が果たす地域の社会的役割(とくに地域の新進芸術家や子どもに対する役割)</li> <li>劇場・音楽堂が輩出した芸術家・芸術団体、スタッフ等の人材のプロフィール</li> <li>地方公共団体の文化芸術振興に関する条例・ビジョン等における位置づけ</li> <li>劇場・音楽堂を支える持続可能な基盤の形成(地方公共団体、協賛・協力者、観客等との安定した関係づくり)</li> </ul>

事業の概要	
政策の中での位置づけ	
<b>文部科学省(文化庁)の政策体系の中での位置づけ</b> ②文化財の保存及び活用の充実 貴重な国民的財産である文化財を適切に保存し、次世代へ継承するとともに、積極的な公開・活用を通じて、広く国民が文化財に親しみ、その価値への理解を深めるようにする。	
第3次基本方針の中での位置づけ	
重点戦略2 文化芸術を創造し、支える人材の充実 ○無形文化財や文化財を支える技術・技能の伝承者に対する支援を充実する 重点戦略4 文化芸術の次世代への確実な継承 ○文化財の特性や適切な保存に配慮しつつ、多様な手法を用いて積極的な公開・活用を行い、広く国民が文化財に親しむ機会を充実する 重点戦略5 文化芸術の地域振興、観光・産業振興等への活用 ○文化財建造物、史跡、博物館や伝統芸能等の各地に所在する有形・無形の文化芸術資源を、その価値の適切な継承にも配慮しつつ、地域振興、観光・産業振興等に活用するための取組を進める。 重点戦略6 文化発信・国際文化交流の充実 ○文化発信・交流の拠点として美術館、博物館や大学の活動・内容を充実する	
事業目的	
<b>既存資料の抜粋(募集案内「1. 事業の概要等 (1) 趣旨・目的」より)</b> ・地域の多様で豊かな文化遺産を活用し、文化振興とともに観光振興・地域経済の活性化を推進すること	
評価指標づくりに向けた戦略目標	
1 人材育成や技術・技能の伝承により、地域の文化遺産を次世代に継承すること 2 地域の文化遺産を適切に保存、公開し、広く国民が親しむ機会を提供すること 3 地域の文化遺産を媒介とすることで、地域の誇りや住民相互の絆を生み出すこと 4 地域の文化遺産を活用することで、地域活性化に資すること 5 地域の文化遺産を活用することで、観光振興に資すること	
事業内容 (平成23年度)	
事業の枠組み	
①地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 地域の文化遺産に関する情報発信、人材育成、普及啓発、継承、記録作成、調査研究等 ②ミュージアム活性化支援事業 美術館・歴史博物館が中心となった地域文化資源活用、地域連携強化、新規利用者層創出、国際交流拠点形成 ③重要文化財建造物等公開活用事業 重要文化財建造物、登録有形文化財建造物又は重要伝統的建造物群保存地区の公開活用のための保存活用計画の策定、設備等整備など ④史跡等及び埋蔵文化財公開活用事業 史跡、名勝、天然記念物及び埋蔵文化財に関する公開活用のための復元、設備等整備など	
主な採択団体・補助事業名	
採択件数:652件 ◆①北海道札幌市「札幌市文化遺産活用による文化振興及び観光振興事業」 ◆①千葉県佐倉市「佐倉・城下町400年記念事業」◎ ◆①・②・④愛知県「愛知県文化財活用活性化事業」◎ ◆①・②・④兵庫県「兵庫県歴史文化遺産活用活性化計画」◎ ◆①・②・③・④島根県松江市「松江市文化遺産活用活性化事業」◎ ◆①・②大分県「歴史ロマン体感！・USAの宝物を探す旅」◎	

	output(結果)	outcome(効果)	impact(波及効果)
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>継承(保存・修復等)に関する取り組みの件数</li> <li>情報発信、人材育成の取り組み、実績</li> <li>普及啓発、後継者養成、体験事業の取り組みの供給量(実施回数等)、需要量(来場者数等)</li> <li>地域の文化遺産の来場者数、来場経路、来場頻度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種の取り組みに対する評価、関係者の意識の変化</li> <li>地域の文化遺産に対する認知度、興味、関心の向上</li> <li>地域の文化遺産に対する来場者等の満足度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域における文化遺産が果たす社会的役割、歴史や伝統に関する意識</li> <li>文化遺産が創出する地域振興面での貢献</li> <li>文化遺産が創出する観光振興面での貢献</li> </ul>

様式例Ⅰ アンケート調査の設問項目			
①採択団体 アンケート調査 (事業報告書と連動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信の媒体数、発行数(HP、映像媒体・印刷物の制作・配布部数)</li> <li>普及啓発、後継者養成、体験事業の企画本数、実施回数、参加者数</li> <li>保存継承等に関する映像記録等の制作・配布部数、上映数、視聴者数</li> <li>文化遺産の保存継承等に関する用具の新調・修理の件数、原材料の確保のための取り組み</li> <li>地域の文化遺産への来場者数(観光客数、入館者数、訪問者数等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金によって充実できた事項(人材育成、技術・技能の継承、保存、公開、地域の各種団体との連携等)</li> <li>事業の効果を示す特記事項(新聞記事、観光PR等による媒体露出効果)</li> <li>新たな文化芸術資源の発見、開拓、保存活用、再活用</li> <li>地域の文化遺産に関わるボランティアの参加者数</li> <li>地域における文化遺産の社会的役割(地域振興、観光振興)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化遺産が創出する地域振興面での貢献(若者の定住・回帰促進、転入人口の増加、社会関係資本の醸成等)</li> <li>文化遺産が創出する観光振興面での貢献(交流人口の増加、地域の観光業の拡大、雇用機会の創出等)</li> </ul>

様式例Ⅰ インタビュー、訪問調査記入フォームの設問項目			
②採択団体 インタビュー調査 (文化遺産の所有者、保存会、自治体文化財担当者等)		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の文化遺産の継承(保存・修復等)に関する取り組みの評価</li> <li>人材育成、普及啓発、記録作成、調査研究等に関する取り組みの評価</li> <li>地域の文化遺産の所有者、保護団体等の意識の変化、交流機会</li> <li>地域における文化遺産の社会的役割(地域振興、観光振興)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域振興における文化遺産の役割(地域の象徴的存在、シビックプライドの形成、住民の信頼関係の源泉等)</li> <li>観光振興における文化遺産の役割(地域ブランドの向上、地域の観光資源、観光産業の牽引的存在等)</li> <li>文化遺産による地域イメージの変化、地域ブランドの向上</li> </ul>
③訪問調査 記入フォーム		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の文化遺産の継承(保存・修復等)に関する取り組みの評価</li> <li>文化遺産の継承、活用に関する専門的知識や技術の向上</li> <li>事業の自己評価や効果の測定に対する取り組みの評価</li> <li>教育機関、NPO、市民団体、事業者等とのネットワークによる効果</li> <li>地域の文化遺産に対する地方公共団体の理解や協力の姿勢、協働体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域振興における文化遺産の役割(地域の象徴的存在、シビックプライドの形成、住民の信頼関係の源泉等)</li> <li>観光振興における文化遺産の役割(地域ブランドの向上、地域の観光資源、観光産業の牽引的存在等)</li> <li>地方公共団体の文化芸術振興に関する条例・ビジョン等における位置づけ</li> <li>地域の文化遺産を継承するための持続可能な構造の形成(地方公共団体、文化遺産所有者、保存会等との安定した関係づくり)</li> </ul>

事業の概要

政策の中での位置づけ	
文部科学省(文化庁)の政策体系の中での位置づけ	
③日本文化の発信及び国際文化交流の推進 文化芸術振興、文化財保護等の分野における国際文化交流の取組を推進することにより、我が国の文化芸術活動の水準を向上し、文化を通じて国際社会に貢献し、諸外国との相互理解の推進を図る。 ◆我が国の芸術家や芸術団体による海外公演や、海外の芸術団体と我が国の芸術団体とが共同制作公演などを行うことにより、文化芸術振興及び国際文化交流を推進する。	
第3次基本方針の中での位置づけ	
重点戦略6 文化発信・国際文化交流の充実 ○舞台芸術、美術工芸品等の海外公演・出展、国際共同制作等への支援を充実する。 ○将来的な東アジア共同体の構築も念頭に置き、東アジア芸術創造都市や大学間交流における活動等、東アジア地域における文化芸術活動を推進する。	
事業目的	
既存資料からの抜粋(募集要項「I.1.事業概要」)	
・日本各地に文化創造と国際的発信の拠点づくりを推進すること	
評価指標づくりに向けた戦略目標	
1 日本の文化芸術に対する理解を促進し、日本に対する親近感を醸成すること 2 国際的な視点から芸術家の創作活動、作品創造に対して貢献すること 3 日本の文化芸術の水準の向上と海外発信、芸術家等の国際交流を促進すること 4 創造的人材の交流・滞在によって地域や住民に新たな活力を創出すること 5 文化芸術を通じた国際的な相互理解を促進すること	
事業内容(平成23年度)	
事業の枠組み	
①アーティスト・イン・レジデンス事業 A: 外国人芸術家を招聘して行う滞在型の芸術創造支援プログラム(必須、30日以上)、B: 外国人研究者・学芸員を招聘して行う滞在型の我が国文化芸術の研究支援プログラム、C: 招聘外国人芸術家による創作作品の発表機会の提供、D: 招聘外国人芸術家又は研究者・学芸員によるリサーチ活動、E: 招聘外国人芸術家と国内芸術家との共同創作活動、F: 招聘外国人芸術家又は研究者・学芸員による講演会・セミナー・ワークショップ・シンポジウム等の活動 ②アーティスト・イン・レジデンス類似・関連事業 ○国際展等の国際芸術フェスティバルにおいて、外国人芸術家を招聘して行う滞在型の芸術創造、展覧会・公演等のプログラム、○アーティスト・イン・レジデンス及び芸術系大学等教育機関との連携により行われる共同創作、展覧会・公演等のプログラム、○優れた外国人芸術家を招聘して行う滞在型の国内外若手芸術家の教育プログラム、○アーティスト・イン・レジデンスのネットワーク構築のためのセミナー・シンポジウム等の開催	
主な採択団体・補助事業名	
①採択件数: 20件 ◆アークスプロジェクト実行委員会◎ ◆公益財団法人セゾン文化財団 レジデンス・イン・森下スタジオ◎ ◆越後妻有大地の芸術祭の里 オーストラリア・ハウスAIR ◆特定非営利活動法人ダンスボックス DANCE BOX Resident Program 2011 等 ②採択件数: 7件 ◆公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト ◆有限会社アゴラ企画 ◆特定非営利活動法人 BankART1929 等	

評価指標、評価データの収集方法と調査項目

	output(結果)	outcome(効果)	impact(波及効果)
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動実績(招聘者数、滞在日数、展覧会等の開催回数、参加者数、パブリシティ件数等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人芸術家の創作活動・作品に与えた効果: AE</li> <li>外国人芸術家・研究者・学芸員の日本の文化芸術に対する理解促進に与えた効果: ABD</li> <li>国内の芸術家・芸術団体の海外進出の機会の増大: BE</li> <li>国内のAIR事業の拠点(プラットフォーム)の増加、質的向上に与えた効果</li> <li>地域住民の外国人芸術家の創作活動・作品に対する興味、理解の促進に与えた効果: CF</li> <li>地域住民の文化芸術活動の活性化に与えた効果(ボランティア、NPO)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(外国人芸術家や研究者・学芸員を通じた)日本に対する理解、親密度の促進に与えた効果</li> <li>国際的な文化交流(芸術家・研究者・学芸員のモビリティ)の活性化に与えた効果</li> <li>AIR事業を通じた国際的な芸術表現・作品に関する質的向上、発展(日本の貢献度)</li> <li>日本の文化芸術に関する国際的な発信度の向上</li> <li>創造的人材の定住・交流の促進</li> </ul>
様式例 I アンケート調査の設問項目			
①採択団体アンケート調査(事業報告書と連動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人芸術家・研究者・学芸員数、滞在日数、延日数</li> <li>展覧会・演奏会等の実施回数、観客数</li> <li>リサーチ実施人数(芸術家・研究者・学芸員)</li> <li>共同創作活動数・作品数</li> <li>講演会・セミナー・ワークショップ等の実施回数、参加者数</li> <li>パブリシティ件数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金によって充実できた事項(招聘人数、滞在日数、施設、運営スタッフ、広報、プログラム等印刷物等)</li> <li>AIR事業の質的向上への効果</li> <li>事業の効果や成果に関するエピソード(自由記述、A～F別に)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本に対する理解、親密度の促進に与えた効果</li> <li>国際的な文化交流の促進に対する当該事業の貢献度</li> <li>諸外国に対する日本文化のアピール度</li> </ul>
②参加者アンケート調査(芸術家・研究者・学芸員向け)		<ul style="list-style-type: none"> <li>当該事業に関する満足度(受入体制、事業内容)</li> <li>日本の文化芸術の理解促進に与えた効果</li> <li>母国の芸術家・研究者・学芸員への当該事業の推薦の意向</li> <li>(リサーチをした)日本の文化芸術・芸術家等の母国への紹介の意向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の創作活動や作品表現に与えたインパクトの大きさ</li> <li>今後の日本との共同創作への関心</li> <li>日本以外のAIR事業への参加意向の増大</li> </ul>
様式例 I インタビュー、訪問調査記入フォームの設問項目			
③採択団体および参加者インタビュー調査(採択団体: 上段、参加者-芸術家・研究者・学芸員: 下段)		<ul style="list-style-type: none"> <li>事業や運営面での効果</li> <li>創作活動、研究活動における成果、効果</li> <li>日本の文化芸術の理解促進の効果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続による将来的な波及効果</li> <li>今後の創作活動に向けた展望</li> </ul>
④訪問調査記入フォーム		<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術家・研究者・学芸員の滞在、創作活動の環境</li> <li>芸術家・研究者・学芸員に対する創作活動・リサーチ活動への支援状況</li> <li>展覧会・演奏会における芸術家と地域住民の交流の様子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の将来性、発展性</li> </ul>

事業および評価の流れ | B. 優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業

